

はつらつ

No.134

栄地区川辺

鵜ノ澤 里彩さん (15歳)



レシピコンテストで大賞の夢は管理栄養士

料理の実力を試そうと思い、給食センターが募集していた和食給食レシピコンテストに、昨年に続けて応募しました。自信はあまりなかったので、私が考えた「魔法焼き」が大賞に選ばれたと聞いてビックリしました。それが実際に給食で出されたときは、友だちから「おいしいね」と声を掛けてもらってとてもうれしかったです。完成をイメージしてレシピを考えるのが楽しいですね。

料理は、母親や祖母の手伝いがしたくて、小さい頃から台所に立っていたので、自然と好きになりました。中学校3年生で部活を引退した今は、週に1、2回の頻度でお菓子作りをする他に、休日には母親に代わって昼食を作ることもあります。

目標は管理栄養士になること。好きなことに携わっていたいし、資格があった方が職業の選択肢も増えると思うからです。結婚したら、料理に腕を振るって家族の健康面をしっかり支えてあげたいですね。

“毎日農業記録賞” 最優秀 受賞

春海の小林さん

「棒もちに “夢中”」



自慢の棒もちを手取る小林さん

毎日新聞社主催の「第45回毎日農業記録賞」で、一般部門の最優秀賞に小林淑子さん(春海)が輝きました。

記録賞は、農や食、環境への思い、提言を募るもので、今回の同部門への応募数は243編。小林さんの作品は、4段階の審査を経て、トップの中央審査委員長賞に選定されました。

小林さんは、「私の道楽から六次産業化に経営発展」夢は棒もち(性学もち)を日本一の餅に!と題して、朝市や直売事業への取り組み、女性起業家によるネットワーク設立など、これまで農業経営に携わってきた経過を原稿用紙10枚につづりました。その中では、郷土食であった棒もち(性学もち)に目を付け、家族から「母



もちの他に、おこわや赤飯を製造。“母ちゃん”たちの熱気が加工場からあふれる

ちゃんのだ楽」と言われながらも6次産業化に力を注いできたことを振り返り、用途も多様で食感にも優れるという棒もちを「きりたんぼより有名にしたい」と夢を記しています。

毎日夜明け前から自宅の加工場に立つ小林さんは、「大変に思うことはない、とにかく続けることだけ。夢中でやっています」と話していました。

みんなみて!みて!! アートギャラリー



画用紙で、顔のあるクリスマスツリーを作ったよ。ツリーがドキドキしながらプレゼントを待っているところだよ。

豊栄保育所
山本 竜義くん



コスモスの花がきれいに咲いたところをイメージして、切り絵で表現。中央の花が細かくて、切り抜き作業が大変でした。

豊和小6年
高山 心さん

こころ



将来の夢は「保育士」です。絵本の読み聞かせをする場面を想像して、紙粘土で作成。明るく優しい先生になりたいです。



共興小6年
伊藤 真那さん

クラブ・サークル紹介

絵手紙教室の受講生の中で、「油絵も描いてみたい」という話が盛り上がったのをきっかけに、10年前にこのサークルを立ち上げました。

油絵だけでなくガラス絵などにも挑戦しており、月1回の活動を続けています。絵の具を塗り重ねて試行錯誤しているとまるで「画家気分」。あっという間に時間が過ぎてしまいます。作品は、のさか文化祭や公民館まつりなどで展示していますが、そこで「いい作品ですね」と声を掛けてもらえる、次への創作意欲が湧いてきます。

メンバーは随時募集中です。初心者、未経験者も大歓迎。体験もできるので、ぜひ一度、見学にお越しください。
(須之内靖子)



Profile プロフィール

- ①設立 平成19年
- ②年齢層 50歳代～80歳代
- ③活動日時 毎月第4火曜日
13時30分～15時30分
- ④活動場所 生涯学習センター
- ⑤問い合わせ 須之内 ☎73-5406

“ものづくり”で全国挑戦

ロボット相撲と発明コンテストの全国大会に、本市の高校生や小学生が出場し、自分たちの自信作で活躍しました。

ロボット相撲で東総工高生が入賞

東総工業高校3年の田邊秀一さん(八日市場)、同校2年の石毛捷太さん(旭市)ペアが11月26日、第25回高校生ロボット相撲全国大会のラジコン型の部に出場し、4位に入賞しました。昨年に続き2回目の挑戦となった田邊さん。整備性や動力面など前回の課題を踏まえて「ほぼ作り直した」という愛機・翔颯龍でトーナメントに参戦した2人は、優勝候補を途中で破り、準決勝まで勝ち進みました。田邊さんは「世界大会でも優勝するようなチームに勝ててうれしいです。自分で作ったものを動かして、それで結果が出るのは、ものづくりの原点だと思います」と目を輝かせ話していました。

同校からは他に、自立型の部に2組出場し、それぞれ3位入賞と1回戦突破を果たしました。



4位に入賞した東総工高の田邊さん(左)、石毛さんペア

発明クラブの3人はチャレコンに出場

八匠少年少女発明クラブに所属する武井咲希さん(八日市場小)と清野真緒さん(野田小)、齊藤滯さん(須賀小)の3人(いずれも6年)は、11月25日に開催された「第8回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」に出場しました。



コンテストに出場した3人。清野さん(左)と武井さん(中)が説明、齊藤さんが操縦を担当した

コンテストは、規定時間の1分以内に、自作のからくりで動く車を動力車でけん引してコースを走り、その間に作品の工夫などを審査員や来場者に向けてPRする方法で実施。3人はチーム「トリプルスター」を結成し、「宇宙の旅」をテーマとした作品で大会に臨みました。惜しくも決勝進出は叶わなかったものの、3人は「1分間が早く感じました。実力を出し切ることができて楽しかったです」と話していました。